

# 結核の予防と がんを 考えるつどい

令和5年度

講演Ⅰ

## 呼吸器感染症を正しく恐れる ～結核と新型コロナウイルス感染症を中心に～

【講師】 京都大学大学院医学研究科  
呼吸器内科学准教授

伊藤 功朗先生



健康長寿のまち・京都

講演Ⅱ

## 進化し続ける肺がん治療

～遺伝子変異解析の発展と  
免疫チェックポイント阻害薬登場からの治療変化～

【講師】 独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター  
内科 腫瘍内科医長 兼 内視鏡室室長

田宮 朗裕先生

9月24日～30日は結核予防週間。9月はがん征圧月間です。

開催会場

令和5年9月4日(月曜日)

開場:午後1時 開演:午後1時30分

開催会場

龍谷大学 響都ホール 校友会館

京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階 JR京都駅八条東口より徒歩約1分  
<https://www.ryukoku.ac.jp/ryudaihall/access/>

入場無料

事前申込要／先着350名様

対象:京都市民 又は 京都市内に通勤・通学されている方

お申し込み・お問い合わせ

一般財団法人  
京都予防医学センター  
KYOTO PREVENTIVE MEDICAL CENTER

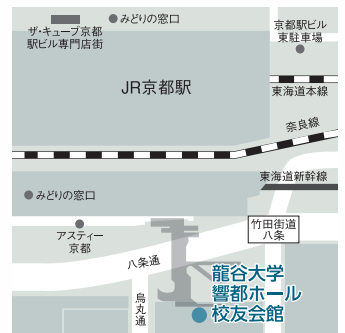
TEL 075-811-9155

FAX 075-811-9138

✉ genki@kyotoyobouigaku.or.jp

申込締切日 9月1日(金曜日)

※お電話・FAX・メールにて先着350名様まで受付けております。  
※お申込みには、住所、氏名(ふりがな)、電話番号が必要です。  
※手話通訳の必要な方は、8月23日(水)までにお申出ください。



響都ホールは、京都駅前の商業施設アバンティの9階です。店内東側エレベーターをご利用ください。

主催:京都市・京都府医師会・京都市地域女性連合会・京都予防医学センター

後援:京都市保健協議会連合会・京都市老人クラブ連合会・京都府栄養士会・京都府看護協会・京都府診療放射線技師会・京都労働局・京都労働基準協会・NHK京都放送局  
KBS京都・京都新聞・京都新聞社会福祉事業団・朝日新聞京都総局・産経新聞社京都総局・毎日新聞京都支局・日本経済新聞社京都支社・読売新聞京都総局

# 結核の動向について

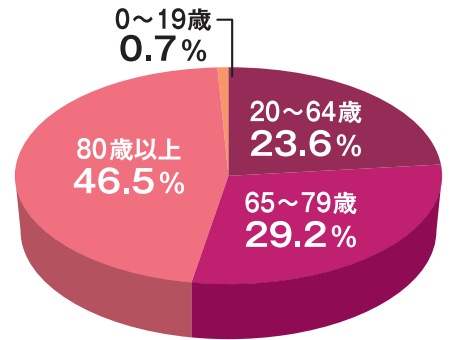
令和4年  
京都市 新登録患者数  
**計144人**  
(速報値)

結核は、近年減少傾向にあり、令和3年に初めて「低まん延国」となりましたが、新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響も含め、今後の動向を注視していく必要がある感染症のひとつです。

最近の結核患者の傾向をみると、高齢者が7割以上を占めています。現在の高齢者は、若い頃に流行を経験し、すでに結核に感染している人が多く、体力や抵抗力が低下した時に眠っていた結核菌が目覚めて発病しやすいといわれています。そのため、年齢が上がるほど、結核患者として発見される方が多くなっています。

一方、若い世代の多くは未感染のため、結核に感染しやすく、比較的早い時期に発病する危険性があります。また、外国人の結核患者も増加傾向が続いており、特に若い世代においてとても多くなっています。

結核のまん延を防ぐためには早期発見が大切です。年1回は必ず検診を受けましょう。



※ 結核患者の75%を65歳以上が占めています。感染症法では、65歳以上の方は毎年胸部検診を受けるように定められています。

# がんの動向について

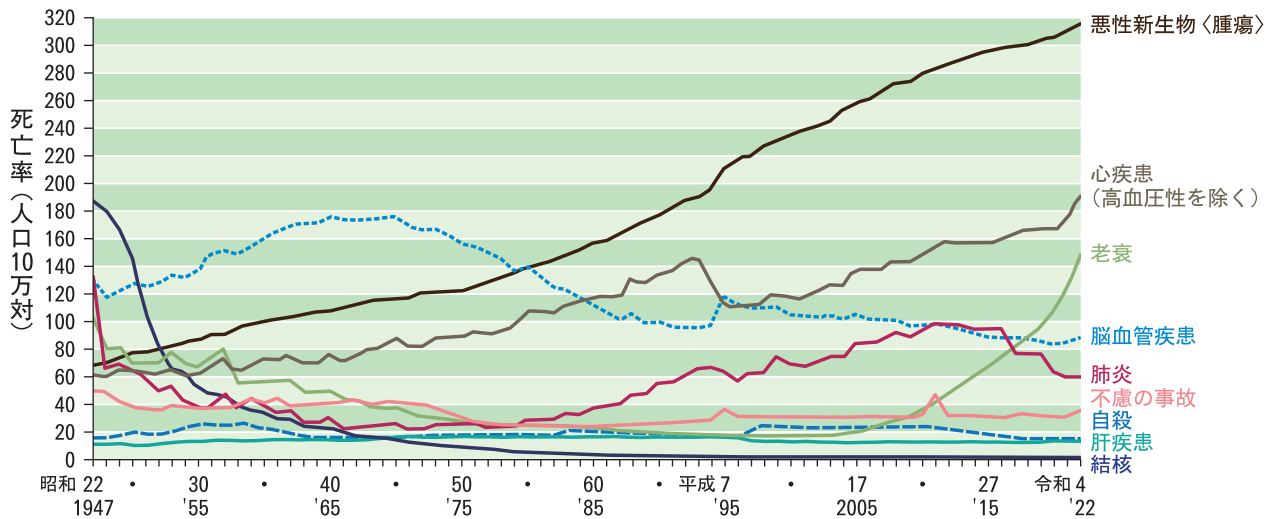
「がん」は昭和56年以来、わが国の死亡原因の第1位であり、死亡数と罹患数は年々増加しています。

主要死因別で見ると、他の疾病を大きく引き離しており、現在、日本人の男性で2人に1人、女性で2人1人が「がん」に罹患し、男性で4人に1人、女性で6人に1人が「がん」により亡くなると言われています。

また、部位別のがん死亡数は、全体で肺がんが最も多く、続いて大腸がん、胃がんの順番となっています。

一方、部位別のがん罹患数は、全体で大腸がんが最も多く、続いて肺がん、胃がんの順番となっています。

【主要死因別にみた死亡率の年次推移（人口10万対）】



資料：資料：厚生労働省人口動態統計

【部位別にみたがんの死亡数（令和3年）】

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	部位	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
	人数	53,278人	28,080人	27,196人	19,334人	15,913人
女性	部位	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
	人数	24,338人	22,934人	19,245人	14,803人	14,428人
全体	部位	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
	人数	76,212人	52,418人	41,624人	38,579人	24,102人

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）

【部位別にみたがんの罹患数（令和元年）】

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	部位	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
	人数	94,748人	87,872人	85,325人	84,325人	25,339人
女性	部位	乳房	大腸	肺	胃	子宮
	人数	97,142人	67,753人	42,221人	38,994人	29,136人
全体	部位	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
	人数	155,625人	126,548人	126,285人	97,812人	94,749人

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）  
※性別不詳があるため男女の合計が総数と一致しない場合があります。